平成 26 年 (2014 年) 2 月那覇市議会定例会

一般質問発言通告書(1日目)

平成26年2月26日(水)

※1 人当たり 15 分間 (答弁を除く)

			※1人当たり lb 分間(答开を除く)
順位	氏 名 (会 派 名)	発言事項	発言要旨
1	金 城 眞 德 (新 風 会) 質問方式 総括質問方式 (演壇·質問席)	1 教育行政に ついて	市内 54 小中学校の運動場から派生する砂、土 埃り対策について 過去 10 年間、各議員からの当局への質問を調 べた。各先輩議員ともすばらしい提案をされて、 児童生徒の教育環境の整備に向けて議論された のがよくわかった。市内 54 運動場から派生する、 この砂、土埃り対策について伺う
		 都市モノレール行政について 	
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

_	·般質問(1日目)	平成 26 年 2 月	26 日 (水)
順位	氏 名 (会派名)	発言事項	発言要旨
2	翁 長 大 輔 (日本共産党) 質問方式	1 那覇市の雇 用政策につい て	(1) 過酷な働かせ方で若者らを使い捨てる「ブラック企業」が社会問題となっている。違法な残業代不払いや過重労働を強いる「ブラック企業」に対する当局の認識を問う
	一問一答方式(質問席のみ)		(2) 非正規雇用の多い企業誘致策の見直しや、 若者たちの就労支援の仕組みを充実させる べきである。当局の見解を問う
		2 琉球漆器の 普及と促進に ついて	(1) 琉球漆器の販路拡大や後継者育成のため にも、商工振興の立場からの支援が必要であ る。当局の見解を問う
			(2) 伝統工芸品の琉球漆器を普及促進することは沖縄の伝統文化を承継するためにも重要である。学校給食での導入をさらに促進すべきである。当局の見解を問う
		3 那覇市にお けるエネルギ 一政策につい て	一政策の先進地、栃木県足利市を視察してきた。

順	氏 名		
位	(会派名)	発言事項	発言要旨
		4 通学路の安 全対策につい て	(1) 児童生徒の交通安全を確保するスクール ゾーン委員会の意義と役割を問う。委員会から提出される要望に十分に応える予算は確 保されているのか。当局の見解を問う
			(2) 泊小学校付近では、横断歩道などの路面標 示が消えかかっている。また交通量も多いが 歩道が無く危険な通りもあり、早急に安全対 策を行うべきである。当局の見解を問う
			(3) 安謝小学校の正門前や周辺道路でも、横断 歩道などの路面標示は消えかかっている。ま た、この地区では新都心地域への抜け道とし て交通量が増えており、早急に安全対策を行 うべきである。見解を問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

	双具问 (10日)	平成 20 平 2 月	20 H ()1()
順位	氏 名 (会派名)	発言事項	発言要旨
3	知 念 博 (新 風 会) 質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	 環境行政に ついて 	(1) 墓地経営について モノレールの浦添への延伸事業により、墓地の立ち退きをせまられている者が多数発生しているようである。その移転候補地の1つとして、首里寒川町の宗教法人の隣接地があがっているようだが、「墓地等の経営許可等に関する規則」は、どうなっているのか、又、その他関連する法令や条例はどういったものがあるのか、その場所での実現の可能性はどうなっているのか伺う (2) 本市の回収ガラス(ビン)のリサイクル状況について容器包装リサイクル法に基づくとガラス
			製容器をカレット化し、ガラス製容器や建築・土木材料などにリサイクルするため日本容器包装リサイクル協会は、市町村からの引き取り品質ガイドラインを設定している。本市の回収ガラスびんの分別及び品質状況はどうなっているのか伺う
		2 福祉行政に ついて	障がい者用のスポーツ施設建設について 浦添市にはサンアビリティーズうらそえとい う障がい者がスポーツや文化活動を通じ、機能回 復、健康増進、教養文化の向上を図るための施設 がある。障がい者専用の温水プールや体育館、ト レーニングルーム、研修室、教養文化室、音楽室 兼盲人卓球室等の施設が完備され、多くの障がい 者に利用されている。本市にも同様の施設が必要 と考えるが当局の取り組みについて伺う
		3 経済観光行 政について	琉球泡盛古酒をユネスコの「世界無形文化遺産」への登録を目指すべきと考えるが、当局の取り組みを伺う 【答弁を求める者】
			市長、副市長、関係部長

	双貝 0 (1 日日/	平成 20 年 2 月	20 H (/JC)
順位	氏 名 (会派名)	発言事項	発言要旨
4	下 地 敏 男 (社 民 党) (質問方式 一問一答方方 (質問席のみ)	1 市長の政治 姿勢について	市長は平成26年度施政方針の市政運営の基本姿勢に、「基地問題は県民の心をひとつにして訴える」決意を示し「基地が沖縄の経済振興の阻害要因である」「基地依存経済の認識は間違っている」「平和と安心・安全を基礎として自立発展を目指す沖縄の心を見失ってはならない」と述べた。又、本市議会は、去る、1月6日の臨時会において仲井眞知事の辺野古埋め立て承認に抗議する意見書を賛成多数で可決した。県議会でも予2月定例会で、知事本人を辺野古埋め立てを承認した経緯について真相究明のために調査特別を員会(百条委員会)を設置し、審議を始めた。証人喚問される知事のこれまでの説明に県民は納得しない。県民の総意に反し、埋め立てを承認した仲井眞知事は辞任すべきであり、辺野古に基地をつくらさない平和な沖縄を求める民意に添う知事が今求められており、市長の見解を伺う
		2 平成26年度 の施政方針に ついて	(1) 「健康づくりと地域医療の充実」について市民の健康づくり推進事業「健康ウォーキング大会」はどのように取り組むのか伺う (2) 観光地周辺の飼い主がいない猫の不妊去勢手術を実施する取り組みについて以下伺う ① 平成26年度予算計上額について ② 同事業の実施時期及び内容について
		3 福祉行政に ついて	 (1) 生活困窮者自立支援法が平成27年4月1日施行される。制度の中の学習支援事業について本市の取り組み状況を伺う (2) 高齢者や障がいのある方が暮らしやすいまちをつくる「ユニバーサルデザインのまちづくり」に那覇市福祉のまちづくり条例はどのように活かされているか伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

	版質問 (1月日 <i>)</i>	平成26年2月	20 μ (/)
順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発言要旨
5	花 城 正 樹 (なは民主)	1 サクラの名 所づくりにつ いて	
	質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	2 平和行政 (選挙) につ いて	
		3 沖縄からノ ーベル賞を! について	万能細胞『STAP細胞』を作り出した小保方 晴子さん。国内外で驚きの声があがっている (1) 本市の事業で自然や科学、環境に対する子 供たちの関心を喚起するものはあるか伺う
			(2) 自然や科学をテーマにした『こども自然科学発表会』(仮称)について 自然を対象にした調査や体験などをテーマに研究作品を募集するのはどうか。見解を 伺う
		4 公共工事に ついて	本市における公共工事の際の市民被害(クレーム)について、過去3年の件数と内容を伺う
		5 人事支援シ ステムについ て	
			(1) 市職員の欠勤や遅刻の状況について
			(2) システムに対する考え方を伺う
		6 冷水器設置 について	本市中学校における冷水器設置数とその考え方について

順	氏 名	発言事項	発言要旨
位	(会派名)	л д ў ў	九 日 女 日
		7 就農一貫支援事業につい	(1) 本市の農業従事者数の推移について
		びず来に ブ ヤ	(2) 支援事業(青年、新規)について、どのよ うな効果が期待されるか
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

	放員问(10日)	平成 20 年 2 月	20 H (/)(/
順位	氏 名 (会派名)	発言事項	発言要旨
6	仲 松 寛	1 ΙΤ行政に	ICT(情報通信技術)の公共分野への導入に
	(自由民主党)	ついて	ついて
			・・・ 民間におけるICT活用は日々の技術革新を
	ssee L. N		伴い今日の社会において、I C T は必要不可欠な
	質問方式		ものとなっている。近年、ICTが医療、介護、
	一問一答方式		福祉、教育等の公共分野へも積極的に活用され始
	(質問席のみ)		め市民サービスの向上に役立てられている
			このことから政府は、ICTを今後更に推進し
			ていく観点から総務省の「ICTふるさと元気事
			業」や文科省の「学校ICT環境整備事業」等の
			具体的支援策を打ち出し、地域の人材育成、雇用
			の創出、地域サービスの向上に役立てる事として
			いる。ついては、次の事項について伺う
			(1) ICTの一環として平成 25 年度沖縄振興
			特別推進交付金を活用した市内小中学校に
			電子黒板を導入したが、成果及び課題をどの
			ように総括しているか伺う
			(9) 他の自治体においては タブレット出去た
			(2) 他の自治体においては、タブレット端末を
			活用した授業が始まっているが、本市の学校
			現場への導入について見解を伺う
			(9) 海フ古港会かけにお他の自込みにおいて
			(3) 逗子市議会をはじめ他の自治体において
			は、議案書、参考資料、請願、行政計画など
			の資料を紙ではなくタブレット端末を議員
			全員と議会に出席する市幹部に配布してI
			CTを活用した議会及び行政運営を行って
			いる。この取り組みにより、膨大な資料を電
			子データ化し、ペーパーレス化によるコスト
			削減や利便性向上を図っているが、見解を伺
			う
		2 公園整備に	漫湖公園整備について
		ついて	平成 26 年度予算に計上されている「桜の名所
		-	づくり事業」は桜の名所となるような場所(公園)
			等)の候補地に桜の植樹等を行い、桜の名所とし
			て整備をする事業である。また公園を整備するた
			めの「公園整備事業」は市民のニーズに沿った公
			園整備を推進する事業である。ついては次の事項
			について伺う

	·般質問(1日日)	平成 26 年 2 月	20 1 (/()
順 位	氏 名 (会派名)	発言事項	発言要旨
			 (1) 漫湖公園では桜の季節になると「桜まつり」を例年開催しているが、桜まつりの主役であるべき桜の木の立ち枯れや成長不足の桜の木が多く見受けられる。桜の木の管理はどのようになされているか伺う (2) 漫湖公園内にある休憩所は天井部や壁面等のコンクリートが剥離しており危険な状態にある。公園施設の点検、管理はどのようになっているか伺う
		3 公共施設整備について	古波蔵ふれあい館跡利用について 古波蔵ふれあい館は市民の健康相談、健康教育 及び健康づくり事業の実施並びに地域ボランティア活動及び住民活動の拠点として児童館や福祉相談支援所、多目的ホール等が整備され地域住 民にとって有効に活用されてきたが、同施設の解体撤去作業が本年から始まることになっている。 ついては次の事項について伺う 古波蔵ふれあい館跡利用計画はどのようになっているか伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問 (1日目) 平成 26 年 2 月 26 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発言事項	発 言 要 旨
7	野 原 嘉 孝 (公 明 党)	1 住宅行政に ついて	本市は老朽化した市営住宅の建替事業を実施 しているが住宅行政について以下伺う
	質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)		(1) 建替工事に伴い市営住宅の空き家募集に 関して、何回応募しても順番が巡ってこない との苦情が多く聞こえるがその現状と今後 の見通しについて伺う
			(2) 市営住宅への入居を希望する高齢者世帯、 障がい者世帯および多子世帯等のニーズに ついてどのように認識しているか当局の見 解を伺う
			(3) 住宅困窮者に対して民間賃貸住宅を有効 活用させようとする「民間住宅活用型住宅セ ーフティーネット整備推進事業」についてそ の概要を伺う
			(4) 住宅困窮者を支援するサポート事業について本市ではどのような取り組みをしているか
		2 新都心の 「沖縄の杜ゾ ーン」の緑地	
		—	(1) 野鳥観察の状況および動植物の生息実態 について
			(2) 文化財の有無について
			(3) 今後の整備計画について
		3 県産品奨励 の状況につい て	本市は各事業および各部署で使用する資材や 物品等に関して極力県内産の物を使うよう奨励 しているが、その状況について以下伺う
			(1) 県内産の使用比率について ① 資材の状況
			② 物品の状況

_	·般質問(1日目)	平成 26 年 2 月	26 日 (水)
順位	氏 名 (会派名)	発言事項	発 言 要 旨
			(2) コストと品質に関する評価と奨励使用に 対する見解について
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

	般質問(1日目)	<u> </u>	26 日 (水)
順 位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発言要旨
8	中 村 圭 介 (無所属の会)	中心商店街活 性化について	(1) 国際通りなどに路上喫煙禁止地区を設け たが、その後の進展について
	質問方式 一問一答方式		① 条例施行後の当局のこれまでの取り組みについて伺う
	(質問席のみ)		② 公設市場雑貨部への喫煙所設置の可能 性について伺う
			(2) 公設市場衣料部の2階に設置されている ひやみかちマチグヮー館について
			① ひやみかちマチグヮー館の開館から3 年が経つが、当初の目的と目標、その進捗 について伺う
			② 4年目に向けた屋外広告など外観の整 備計画について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

		平成 20 年 2 月	20 H (/JC)
順位	氏 名 (会 派 名)	発言事項	発言要旨
9	前 田 千 尋 (日本共産党)	1 学校給食費 について	(1) 学校給食費の納入状況について問う
	質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)		(2) 消費税増税でさらなる負担を強いられる中、給食費のこれ以上の値上げはおこなうべきではない。見解を問う
		2 就学援助制 度の拡充につ いて	(1) 生活保護費の基準の引き下げによって、これまで就学援助を受けていた児童生徒がはずれてしまうことがあってはならない。影響など今後はどのように把握し検討していくのか問う
			(2) 消費税増税による影響と対応について問 う
		3 高齢者の実 態について	(1) 那覇市における後期高齢者の短期被保険 者証と未更新の人数(%)と実態について問 う
			(2) 那覇市の孤立死の実態について問う
		4 性暴力ワン ストップ支援 センターの設 立について	(1) 沖縄県の実施計画と、那覇市の連携はどの ようになっているのかを問う
		77.4C - 24 + C	(2) 県都那覇市でも、性暴力ワンストップ支援 センターの設立を求める声がある。見解を問 う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長